



ふうの木のある学校から

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 3月号 文責 校長

ご支援ご協力、ご指摘、 ありがとうございました。

昨年4月に赴任してきたことが、昨日のことのように感じ、月日の経過の速さを思い知らされる今日この頃です。

「心と体を大切にしてください」と、子供たちに投げかけ、石井十次先生の教えの中にもある「自分だけでなく他者も気遣うこと」ができるようになってほしいと願いを込め、見守ってきました。

学習活動や集団活動の中で、子供たちも「試行錯誤」しながら、成長している姿を見せてています。

学習での「なぜ」、「どうして」を「わかる」、「できる」に変えていく過程、集団の中での人間関係をつくっていく過程等において、つまずいたり、トラブルも起きたりしています。

保護者の皆さんや職員との連絡・相談を繰り返す中で、解消された事案、経過観察中の事案、別の方で改善を図ろうとしている事案等があるのも事実です。

そのたびに、その子にとってよりよい手立てはないか、双方がうまくいく手立てはないか、と共感的で、前向きなご意見やご指摘をいたしました。

まさに
「いいことは、おかげさま。よくないことは、
お互いさま。」
を体現している時間だと思っています。

令和7年度も、子供たちの5年後、10年後を想像しつつ、課題があってもよりよい成長のために前向きな話のできる1年でありたいと考えています。

次年度もよろしくお願ひします

ふうの木まつり（2月16日）

日曜参観、キッチンカー販売へのご協力ありがとうございました。

小雨の残る天候でしたが、たくさんの方々にお越しいただきました。

注文数は事前に把握していましたが、調理販売に係る時間が想定以上にかかってしまい、行列を作って、長時間並ぶという事態が発生てしまいました。

中には、注文していたけど時間がないので帰ってしまったというご家庭もあったのではないかと聞いております。

このイベントも、運営面で保護者の皆さんの負担軽減を考えてのアイディアであり、初めての取組でした。

次年度どうするかについては、本年度の課題を踏まえて役員の皆さんと検討してまいります。

町生涯学習大会・自治公民館大会 (2月24日)

町内小中学校長の代表として、参加しました。
高鍋神楽の披露、地域団体の方々の発表の後、
元オリンピック選手、谷口浩美さんの講演がありました。

金メダルを期待されていたオリンピック（マラソン）で8位に終わったものの、

「こけちゃいましたあ」
の発言で、多くのメディアに取り上げられるまでの経緯やエピソード。

保健体育の先生になろうとおもっていたのにマラソン選手になってしまった理由、その過程での数々の出逢い、自己分析することや早寝早起き朝ごはんの大切さ等、楽しさの中にも、学ぶべきことがたくさんあった講演でした。

やっぱりオリンピアンはちがうなあ～、と痛感した時間でした。

「主体的に学ぶ」

「ここまでできるんだけど、
ここからが自信がない。」

「ここまで分かるんだけど、
ここからが、よく分かんない。」

というようなこと、皆さんにはありませんか？

先日、全職員で「たかなべ学力調査」結果の分析を行い、できている所・できていない所はもとより、これからどんな指導支援を行えば、「できる・わかる」を保障できるかについて協議しました。

早速、各学年の指導支援の手立てを具体化し、日々の学習活動や宿題等に反映させていくようしています。

子供さんから「授業の仕方が変わった」とか、「宿題の仕方が変わった」といった話が聞こえてきているかもしれません。

テストや学力調査は、「なぜ、できた」、「なぜ、できなかった？」を見て、「どうしたらできるようになるか」を考える、指導支援を改善するための重要な資料です。

全職員で、今の学年における、子供たちの「できる・わかる」を保障するための取組を進めています。

取り組む内容は、教科指導（授業改善）・家庭学習（音読・読書・キュビナ）等、多岐にわたります。

もしかすると、春休みの家庭学習にも反映されるかもしれません。

次年度につなげる取組でもありますので、ご家庭でのご確認・ご協力をお願いします。

1日ごとに紙をはがしていく「日めくりカレンダー」を校長室に設置しています。私がめくり忘れているときや不在の時には、自ら進んで、めくってくれる子供たちがいます。

幼い頃の懐かしい思い出でもありますが、「有難い」心遣い・行動に感謝しています。
「ありがとうございます」

チーム学年担任・教科担任制について

「児童への個別対応、保護者の皆さんのが想いに応える指導支援、教員の育成等、学校に求められていることが多様化している。」

その課題解決をするために学校も何かを変えなければいけない」という思いから、令和7年度より高学年のチーム担任制、教科担任制を実施します。

3月21日、午後6時30分から説明を希望する保護者の方々へ説明を行いました。

本校の現状を踏まえた私の想い、具体的な実施の手立て、先進校視察の状況を紹介した後、質問や指摘をいただきました。

「学級担任がいない」「責任の所在が明確でない」ということが協議の大きなテーマとなり、個人面談はどう行うのか、もしもの場合の連絡が円滑にできるのかといった実施上の核心に迫る質問や今後に活きる前向きなご指摘をたくさんいただきました。

「学校の先生方も新しいことにチャレンジする姿を子供たちに見せてほしい」という応援の言葉もいただきました。

課題や指摘について、ひとつひとつ向き合い、有効な手立てとすることができるよう準備をすすめてまいります。

家庭読書（家読：うちどく）

3月6日、学校運営協議会が行われました。

本年度の本校と西中学校の学校運営について評価をしていただき、成果と課題を含めて次年度に活用するための協議を行いました。

その中で、「家庭での読書の取組が進んでいないのでは？」という話題が上がりました。

タブレットの活用等によって、家庭での読書時間の確保が難しくなってきていることが要因のひとつとして考えられます。

デジタルと書籍のバランスをとるのは難しい今日この頃。学校図書館の貸し出し数は増加傾向にあり、借りたい本（読みたい本）がなければ、町図書館のバックアップがあります。

音読も含め、活字に触れる機会を見直したいものです。